



ふるさとだより

第16号

平成30年1月20日

西会津 富士の郷

HP : www.nct.ne.jp/fujinosato/

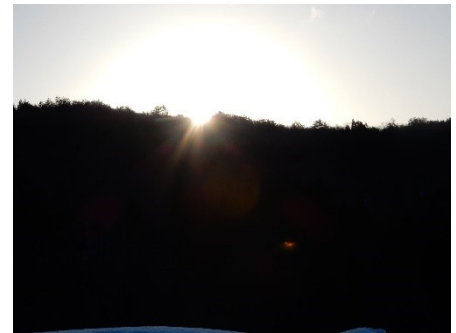
新年のごあいさつ

皆様方には、心新たな新年をお迎えの事と存じます。

富士の郷の活動も、町ケーブルテレビでの放送や新聞報道などにより、年々多くの人に知られるようになりましました。今年も力を合わせて充実した活動に取り組んでまいります。

『ふるさとだよりを一字一句のがさず読んでよ』と言われた時こちらも嬉しくなり、実りある内容にしなければ、と心がけております。

今年も年四回発行して皆様にお届けします。是非感想やご意見、故郷での思い出などを寄せいただきたいと思ひます。



富士山からの初日の出

◆(株)富士ソフトとの交流深まる◆

富士ソフトさんとの交流も5年目を迎えます。富士山の山開きやスノートレッキング、富士ソフト水仙ロードの植栽など交流を続けています。

昨年11月11日は、愛宕山に再建立した愛宕地蔵尊の入仏開眼式に参列され、興味深く臨んでおられました。翌12日は愛宕山に水仙の球根植えです。春には桜と共にきれいな花を咲かせることでしょう。歳之神に使う茅も刈って頂きました。

また、昨年6月19日富士ソフト創業者で会長の野澤さんの訪問に続き、12月9日には富士ソフト社長の坂下さん、富士ソフト企画社長の須藤さんが会長宅を訪問されました。薄町長にもお忙しいなか駆け付けて頂き、有意義な歓談のひとつきを過ごしました。



愛宕山の入仏開眼式



水仙の球根植え



薄町長も交えて歓談

『西会津十三名山を語ろう』公開講座で 富士山をアピール！

西会津町を取り囲んでいる山々の魅力発信で町の活性化を目指している団体「西会津ぐるっと山ネットワーク」が、昨年11月23日(木)道の駅よりっせにて『西会津十三名山を語ろう』公開講座を開きました。山ネットが選定した「西会津十三名山」と番外の二山について、会場の大きな画面に町内からの全貌と頂上からの眺望の写真を映し出しながら、山の名前の由来や変遷について説明があり、続いて各担当者がその山への思い出や歴史、維持保存活動などを語りました。

富士山については、祠の胎内くぐりの説明などに続き、旧新郷小学校の『新郷カルタ』のうち富士山を詠んだ句を紹介しました。

一つは『富士山に 鉦と太鼓を打ち鳴らし 雨乞いをした昭和18年』という句で、昔から雨乞いの山・神社としてご利益(ごりゃく)があり、近隣からも足を運んで祈ったそうです。

もう一つは『その昔 七月七日に村人が お参りをしたお富士権現』という句です。この日が当時の山開きだったのでしょいか。

そして、富士の郷が登山道や駐車場の整備・案内板の設置をして、冬のスノートレッキングと夏の山開きイベントも行っている活動を伝えました。

また、昨年7月の富士山頂でのコンサートの主催者が、その時の印象を熱く語ってくれました。

雨模様だったこともあり参加者は約30名でしたが、これを機に次回からの富士の郷のイベントに参加者が増えることを願っています。



代表 薄定雄さんのあいさつ



薄友喜町長より祝辞



大画面に山の写真を映しての説明と質疑応答

◆これ、何に見えますか?◆



会沢真さんの育てた自然芋(山芋)です。地面の粘土がきついためでしょうか。こんなこともあるんですね、自然の創った芸術です。

◆古峯神社に参拝◆

今年の古峯神社への代参は、代表世話人の貝沼真さんと山口茂起さんでした。火伏の信仰は、江戸時代は藩の指示で秋葉山と妙義山でした。明治になってから、古峯神社に変わったと言われています。



小清水・漆窪 合同収穫祭

両自治区の恒例行事である収穫祭を、今年は双方からの呼びかけにより、初めて小清水集会所にて、11月23日(木) 合同で開催しました。

女性の方々は台所で準備作業、漆窪自治区の方は、午前中側溝の清掃などの作業をし、小清水自治区の方は集会所の障子の張替えと講習会も兼ねてのそば打ちをしました。

参加数は30人ほどで、そば・もちのごちそうを食べながら、今年の収穫の苦勞と感謝の話で楽しいひと時を過ごしました。



そば打ち講習会



ご馳走の準備に大忙し



薄町長よりご祝辞

◆新年顔合わせ◆

漆窪自治区の新年顔合わせは、元旦の午後2時からお宮で行いました。

初詣と同時にみんなで新年の挨拶を交わしました。3畳ほどの狭いお宮ですが、お神酒で乾杯し、一品持ち寄りの料理やつまみで雑談しながら、今年一年の平安を祈りました。

また、小清水自治区でも、元旦の午後1時より、お宮で参拝を済ませた人が集会所に集まり、懇談しました。今年も良い一年であるよう祈りたいものです。

小清水 歳の神

今年も小清水集落の歳の神を1月14日に行いました。今年の年男は長谷沼政雄さん。集落の方15人ほどの行事となり、みんなで無病息災・五穀豊穰などをお祈りしました。

平成30年漆窪自治区 歳ノ神

小正月の伝統行事である歳ノ神を1月15日(月)に行いました。

午後3時から1時間ぐらいかけ、ワラと萱で2本の歳ノ神をたてました。2本は、爺と婆だと聞いています。

点火は午後6時です。今年はよく燃え上がりました。歳ノ神も気分よく天にたどり着いたと思います。するめや餅を焼き、お神酒を飲み交わし、男性による胴付きなどを行い、一年の家内安全、無病息災と五穀豊穡を祈りました。

最後に歳ノ神を倒しますが、歳徳神が存在するといわれる、あきの方(恵方)に倒します。今年は丙(南南東)の方角です。



◆野うさぎの足あと◆

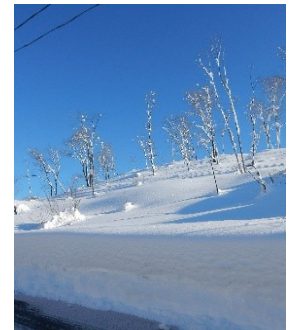
数年見かけなかった野兎の足跡が見られるようになりました。

子供の頃、細い針金で輪を作り、兎取りに挑戦したことを思い出しました。



◆今年は大雪か!?!◆

1月10日の夜から降り続き、11日は二回も除雪した大雪。12日の朝も除雪。ところが、13日は雲ひとつない晴天で、早朝には、空気中の水分がキラキラ光輝いて、ダイヤモンドダストが見られました。



訃報

漆窪の福地ひさ子さんが11月12日逝去されました(98歳)。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

小清水・漆窪集落の予定

- 2/5~6 駒沢女子大学 除雪ボランティア
- 2/24~25 富士ソフト スノトレボランティア
- 2/25 富士山 スノートレッキング

芸術村 長期休館のお知らせ

旧新郷中学校校舎2階廊下から外に非常階段が付く予定です。裏庭では、スプリンクラー用のポンプ室設置工事などが進んでいます。2月末まで休館となります。HP: nishiaizu-artvillage.com/ フェイスブック: [nishiaizuartvillage](https://www.facebook.com/nishiaizuartvillage)

編集後記

新しい年になり、駒沢女子大学や富士ソフトのボランティア受入れ、富士山スノートレッキングの取り組みなどの活動が始まります。昨年11月23日の収穫祭に地元出身の方が参加され、『ふるさとだよりいつもありがとうございます』と声をかけていただきました。読者の立場に立った紙面づくりを大切にこれからも編集してかなければと、改めて感じました。(貝沼 眞)

皆様よりご意見等をお待ちしています。fujinosato@nct.ne.jp または編集委員までお寄せください。住所など変更があればお知らせください。